

ゆっくり走ろう北海道



No.185 公益社団法人 北海道交通安全推進委員会

令和6年
あけまして
おめでとーうございます



新年を迎えて

公益社団法人北海道交通安全推進委員会

会長 勝木 紀昭

新年あけましておめでとうございます。

私たち道民や国内外からの往来も増え、ようやく北海道にも賑わいが戻ってまいりました。昨年も、北海道、北海道警察をはじめ、関係機関、地域の皆様のご支援、ご協力を賜り、交通安全活動を展開できましたことに心からお礼申し上げます。

ここ数年、道内の交通事故死者数は年々減少していたところですが、昨年は、前年を16名超える131名となりましたことは、誠に残念です。特に、重大な事故や、高齢者や自転車、車輪の脱落による事故など、様々な形態の事故が相次ぎ、改めて多方面からの取組を展開する重要性を痛感いたしました。

昨年4月、当委員会の「交通遺児育英事業」に返還不要の「給付金」や「お見舞金」を加え、新たな制度としてスタートさせました。子どもたちには夢をあきらめてほしくないという願いに賛同した多くの皆様から、励ましやご寄付も寄せられ、子どもたちにお繋ぎすることができたものと感謝申し上げます。

また、こうした事業を展開しながら、もう二度と交通遺児を生み出してはいけない、交通事故で悲しい思いをする人を一人でも減らしたいとの思いも増し、当委員会では、改めて、会員の皆様等と意見交換を行い、様々な分野や業種のお力をいただいた事例集を作成するなど、「交通安全の輪」を広げるための取組をこつこつと進めてまいりました。

今年の夏は、小樽で発生した悲惨な飲酒運転事故から10年を迎えます。未だ、ゼロにならない飲酒運転事故。その根絶に向けて、様々な事業の中で、高校生や大学生、さらには地域の飲食店にもご協力いただいています。今年こそ「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」を合言葉に、皆様とともにゼロを目指し、思いやりあふれる社会の形成に力を注ぎたいと存じますので、引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭所感

北海道知事 鈴木直道

明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

北海道交通安全推進委員会の皆様におかれましては、日頃から、道内各地で交通事故の防止に多大なるご尽力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

昨年は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症が5類へ移行する、大きな節目の年となりました。これまでの対策へのご理解とご協力に対し、改めて心より感謝申し上げます。

5類移行に伴い社会経済活動が活発化する中、本道における昨年の交通事故死者数は前年に比べて増加し、依然、多くの方が交通事故の犠牲になつていことから、道民の皆様の安全・安心を守る継続的な取組の重要性を切に感じております。

道では、昨年、数度にわたり交通事故多発警報を発表するとともに、「ストップ・ザ・交通事故（めがせ安全で安心な北海道）」をスローガンに掲げ、関係の皆様と一丸となって交通安全運動に取り組んできたところであり、今後も、

犠牲となられる方を一人でも減らすことができるよう、粘り強く啓発活動を続けてまいります。

特に、飲酒運転による交通事故が未だ後を絶たないことから、「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」を合言葉に、飲酒運転を絶対に見逃さないという「社会の目」を道内隅々まで広げ、飲酒運転の根絶に強い決意をもって臨んでまいります。

また、全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されるとともに、特定小型原動機付自転車の交通方法等の規定が創設されたことから、引き続き道民の皆様への交通ルールの啓発にも努めてまいります。

本年におきましても、道民の皆様や関係機関・団体の皆様と共に、より効果的な交通安全運動を推進し、交通事故のない安全で安心な社会の実現に向けて取り組んでまいりますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年が希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。



年頭所感

北海道警察本部長 鈴木信弘

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中、北海道交通安全推進委員会の皆様には、交通安全活動を始め、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜りましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

長かったコロナ禍をようやく抜け、社会活動が活発化する中、貴委員会を始めとする団体や関係機関の皆様には、御理解と御協力を頂きながら交通安全活動を推進していただきました。

さて、道内における交通事故情勢であります。昨年、交通事故により亡くなられた方は、残念ながら、前年より16人多い131人となったところであり、交通事故により、多くの尊い命が犠牲となつていことは、誠に痛ましく、憂慮に堪えないものがあります。

道民の願いである「交通事故のない安全で安心な北海道」の実現に向け、その社会的機運は確実に前進しているものと認識しておりますが、今後とも、皆様方と連携した交通安全への取組が必要であると考えております。

昨年中の重大事故を見ますと、6月には八雲町において、トラックと高速バスの正面衝突により5人の方が亡くなる事故や、11月には札幌市西区において、走行中の車両からタイヤが外れ歩行中の女兒に衝突するという大変痛ましい事故が発生しました。

これから厳冬期を迎えスリップ等による重大交通事故の発生や、歓送迎会に伴う飲酒運転に起因する事故、さらには、コロナ禍が収束したことにより、インバウンドや国内旅行者による観光地等での事故が懸念されるところであります。

北海道警察といたしましては、本年も「交通事故抑止」を重点として、飲酒運転や速度違反など、重大な交通事故に直結する悪質危険な交通違反の取締りを始め、各種情報発信等による啓発活動を推進して参ります。

皆様方におかれましては、今後も引き続き、交通安全活動に御尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。結びに、北海道交通安全推進委員会の益々の御発展と会員の皆様の御健康、御多幸を祈念申し上げます、年頭の御挨拶とさせていただきます。

令和6年における交通安全運動の推進方針（概要）

運動の目的		道民の交通安全意識を高め、交通事故を防止する。			
年間スローガン		ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ安全で安心な北海道～			
交通安全運動の重点	子どもと高齢者の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩行者を最優先とする保護意識の醸成を図る広報啓発活動、自ら安全を守るための交通行動を促す交通安全教育を推進する。 ○ 街頭における交通安全指導と交通ルールを身につけるための交通安全教室等を推進する。 ○ 登下校時の安全確保のための関係機関・団体による通学路の安全点検と保護・誘導活動を推進する。 ○ あらゆる機会に高齢者の行動特性を理解した交通安全意識の向上を図る広報啓発活動を推進する。 ○ 高齢者が個々の身体機能を自覚した安全な交通行動となる交通安全教育や高齢者宅への訪問活動等による交通安全指導を推進する。 ○ 運転免許証の自主返納者への支援に関する情報の提供や安全運転サポート車の普及促進のための広報啓発活動を推進する。 			
	飲酒運転の根絶	<ul style="list-style-type: none"> ○ 悪質な犯罪である飲酒運転の根絶に向けて、「飲酒運転をしない・させない・許さない」という規範意識の醸成と「そして見逃さない」という視点をもって広報啓発活動を推進する。 ○ 飲酒疑似体験の交通安全講習や就業前後における飲酒状態の点検等の普及活動を推進する。 ○ 「飲酒運転根絶ロゴマーク」やハンドルキーパー運動、「飲酒運転ゼロボックス」を周知するなど、飲食店や酒類販売店等と連携した広報啓発活動を推進する。 ○ 飲酒運転に関する情報提供の促進を図り、飲酒運転を見逃さない「社会の目」の一層の拡大を推進する。 			
	スピードダウン	<ul style="list-style-type: none"> ○ 速度の出し過ぎによる危険性を周知する広報啓発活動を推進する。 ○ 思いやり・ゆずり合いの心を持った運転意識の醸成に向けた広報啓発活動を推進する。 ○ ドライビングシミュレータ等を活用した安全速度の遵守に向けた交通安全教育を推進する。 			
	シートベルトの全席着用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 後部座席を含めた全席でのシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の効果についての広報啓発活動、着用率向上に向けた取組を推進する。 ○ 各種資器材を活用したシートベルト非着用の危険性の認識向上に向けた交通安全教育を推進する。 			
	居眠り運転の防止	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長距離運転における休憩の呼びかけなど居眠り運転事故防止に向けた広報啓発活動を推進する。 ○ 交通安全講習、研修会等において居眠り運転防止に向けた交通安全教育を推進する。 ○ 道の駅、コンビニエンスストア等の駐車場を休憩場所に提供する「居眠り運転防止協力店」や観光施設と連携した広報啓発活動を推進する。 			
	自転車の安全利用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車は「車両」であるということの周知を図るための広報啓発活動を推進する。 ○ 自転車シミュレータや自転車安全利用五則等の活用による自転車の交通ルールとマナー向上に向けた交通安全教育や広報啓発活動を推進する。 ○ 乗車用ヘルメットの着用、自転車損害賠償保険等への加入に向けた広報啓発活動を推進する。 ○ 特定小型原動機付自転車に関する交通ルールを周知するための交通安全教育や広報啓発活動を推進する。 			
	安全意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夕暮れ時・夜間の交通事故実態及び危険性を周知し、反射材用品等の着用促進を図る広報啓発活動を推進する。 ○ 昼間の点灯を呼びかけるデイ・ライト運動や夜間におけるハイビームの活用に向けた広報啓発活動を推進する。 ○ 「ながら運転」や「あおり運転」の危険性を周知する広報啓発活動を推進する。 			
期別運動	運動名	春の全国交通安全運動	夏の交通安全運動	秋の全国交通安全運動	冬の交通安全運動
	実施期間	4/6(土)～4/15(月)	7/13(土)～7/22(月)	9/21(土)～9/30(月)	11/13(水)～11/22(金)
	セーフティコール	4/5(金)	7/12(金)	9/20(金)	11/13(水)
	期別運動の方針	○ 新入学（新学期）を迎える子どもや活動期に入る自転車利用者の事故防止を図るための活動等を推進する。	○ 観光・夏型レジャー等に伴う事故防止、バイクによる事故防止及び飲酒運転根絶を図るための活動等を推進する。	○ 夕暮れ時と夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止等を図るための活動等を推進する。	○ 凍結路面でのスリップ事故防止等を図るための活動等を推進する。
重点項目	○ 春・秋の運動においては、全国交通安全運動推進要綱の運動重点に準じ、必要に応じ北海道独自の項目を定める。 ○ 夏・冬の運動においては、北海道の地域特性、交通事故の発生状況・特徴等を勘案する。				
交通安全の日等の運動	飲酒運転根絶の日	7月13日(土)	道民の飲酒運転根絶の気運を高めるため、広報啓発活動を実施する。		
	交通事故死ゼロを目指す日	4月10日(水)、9月30日(月)	交通事故死ゼロを目指し、住民集会などの啓発行事や期別運動のセーフティコールに準じた広報啓発活動を実施する。		
	道民交通安全の日	毎月15日	道民の交通安全意識の高揚を図るため、期別運動のセーフティコールに準じた広報啓発活動を実施する。		
	自転車安全日	毎月第1及び第3金曜日	自転車の安全利用と事故防止を図るため、自転車利用者を対象に街頭指導、啓発活動等を実施する。		
	その他の交通安全の日	無事故の日(6/25) バイクの日(8/19)	地域独自の交通安全の日等に、地域・職域の実情に応じた広報啓発活動を実施する。		
特別対策	「交通死亡事故多発警報」や「飲酒運転根絶緊急対策」の発表時に地域住民等へ緊急かつ効果的な広報啓発、住民集会、街頭指導等を実施する。				

秋の全国交通安全運動 「2023交通安全道民総決起大会」

9月21日から9月30日までの10日間の「秋の全国交通安全運動」を広く道民に周知するため、初日に関係機関・団体等が一堂に集い、道庁赤れんが庁舎前庭で秋の全国交通安全運動「2023交通安全道民総決起大会」を開催しました。

主催者を代表して加納孝之北海道環境生活部長、鈴木信弘北海道警察本部長から、引き続き来賓を代表して富原亮北海道議会議長からご挨拶をいただきました。

当日は、飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」と「べや、パパ」、またスベシヤルゲストとしてタレントの木村愛里さんが駆けつけ、木村さんによる交通安全トークでは、夕暮れが早まるこの時期の運転の注意点や反射材着用の必要性、また飲酒運転は「しない、させない、許さない、そして見逃さない」を意識し、飲みすぎた翌日には運転を控えることを訴えました。また、



途中、自転車利用の寸劇を交え、走行中のスマートフォン操作やヘッドホンなど付けての運転は危険であること、自分の命を守るヘルメットの着用についても呼びかけました。

大会終了後には、西5丁目通り沿いでセーフティコール「旗の波」による街頭啓発を実施し、木村さんと「やべーべや」にも参加していただきました。



秋の全国交通安全運動 「交通事故ゼロを目指す日」

9月30日は「交通事故ゼロを目指す日」です。

前日の29日、広く道民に交通ルールの遵守と交通マナーの実践の呼びかけ、交通安全の高揚を図り、交通事故を防止することを目的に関係機関・団体と連携して札幌駅南口で啓発イベントを実施しました。

北海道警察のマスコットキャラクターの「ほくとくん」、「飲酒運転根絶戦隊！飲んだら乗れんジャー」、「飲酒運転根絶アンバサダー」「やべーべや」が駆けつけ、「飲んだら乗れんジャー」シヨウでは、自転車乗車時のヘルメット着用の重要性や飲酒運転根絶を訴えました。また、近くの保育園児が「交通安全メッセージ」を元気いっぱい読み上げ参加者や通行人に交通安全をお願い

しました。アピオ太陽の広場に移動しての街頭啓発では、のほり旗や手旗で通行人に交通安全を訴えたほか、交通安全グッズを配布しました。



冬の交通安全運動全道統一行動日 「セーフティコール」

11月13日、札幌では道庁赤れんが庁舎前庭で、交通安全対策七者連絡会議が主催する冬の交通安全運動「セーフティコール」が開催されました。

タレントの東李苑さんによる交通安全トークでは、冬道のスリップ事故や道路脇に雪山がある場合の留意点として「車はすぐにとまらないこと」、「雪山でドライバーから見づらいこと」などしっかり理解して安全に道路を利用していただきたいと訴え、さらに、飲酒の機会が増えるこの時期に向け「飲酒運転は絶対ダメ」とメッセージをいただきました。

また、セーフティコール終了後に実施した札幌駅前通り沿いでの「旗の波」



による街頭啓発にも参加し、歩行者や通行車両に向け、交通安全を呼びかけていただきました。

飲酒運転根絶 「飲酒運転はチヨウとも許さない！ 飲酒運転ゼロ大作戦！」

12月4日、年末を迎え、忘年会などで飲酒の機会が増えるこの時期に、幅広い年齢層に飲酒運転を呼びかけようと、交通安全対策七者連絡会議と札幌方面西警察署が主催し、関係機関の協力のもと、イトーヨーカドー琴似店で啓発活動を実施しました。

札幌市西区のアイドル「Teamくれれつ娘！」や道警マスコットキャラクタークターの「ほくとくん」、「飲酒運転根絶戦隊！飲んだら乗れんジャー」が参加し、会場を盛り上げてくれました。



世代間交通安全交流事業 「キッズと安全キャンペーン」

世代の垣根を越えて一緒に交通安全について考えるため、11月17日、札幌方面俱知安警察署の協力のもと「キ



登録店等はこちらから

道と当委員会では、飲酒運転根絶に取り組み宣言を行った飲食店や酒類販売店等を登録し、ご協力をいただいています。コロナ禍も落ち着き賑わいが戻る中、今年は、道内各地で続々と宣言店が増え、「みんなで飲酒運転ゼロを目指す」機運が広がっています。登録いただいた皆様ありがとうございます。引き続き募集中です。

飲酒運転根絶宣言店登録制度
（ぞくぞくと増加中）

当委員会では、こうした世代間の交流事業が各地で行われることを期待しています。



「ラットと安全キャンペーン」を実施しました。認定子ども園「安藤幼稚園」の園児と町内の高齢者の皆さんが集まり、夜光反射材の効果について学び、その後は、園児たちが高齢者の履いている靴などに直接、夜光反射材をつけてあげ、お返しにキャラクターの反射材が贈られました。

交通安全DVDを貸出しています。子ども、高齢者、飲酒運転根絶、自転車安全など各種取り揃えていますので研修会などでご利用ください。



詳しくはこちらから

交通安全DVDを貸出しています。

交通安全DVDを貸出しています。

- ・公益社団法人北海道トラック協会
- ・対談「交通遺児育英会石橋会長×当委員会勝木会長」
- ・ポツカサポロフード&ビレッジ(株)
- ・対談「日本自販連道ブロック協議会沖田会長×当委員会勝木会長」
- ・アンビシャスグループ北海道(株)
- ・北海道自家用自動車協会連合会
- ・全国共済農業協同組合連合会北海道本部

交通事故死及び飲酒運転「ゼロ」を目指し、様々な業界の皆様と連携しながら、大きな「交通安全の輪」が生まれるよう、当委員会ホームページでは、企業・団体等の交通安全活動や社会貢献活動への取組みを順次、紹介しています。皆さんの活動の参考にしてください。

（掲載中の企業・団体）※今年度紹介順



みんなでつくる「交通安全の輪」
企業・団体の取組み事例

令和5年 飲酒運転根絶！
高校生メッセージコンクール審査結果

たくさんの応募、ありがとうございました。詳細はホームページをご覧ください。



北海道知事賞



北海道教育委員会教育長賞



北海道警察本部長賞



札幌市長賞



北海道交通安全推進委員会会長賞



北海道交通安全協会会長賞



北海道安全運転管理者協会会長賞



飲酒運転根絶アンバサダー「やべーや」特別賞

令和5年

飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール

北海道知事賞

北海道砂川高等学校
1年 繁田 佳志さん

あなたが飲酒運転をすることで、輝かしい未来のあった命は無惨にも散ってしまう。あなたは自覚しなければならない。自分が握っているのは、車のハンドルだけでなく、人の命であるということ。



北海道教育委員会 教育長賞

北海道帯広農業高等学校
1年 柿野 るいかさん

その一杯の重みを知ってください。命の重み、人生の重み、未来の重みを。その1杯のその先を想像してください。してもしきれない後悔、奪われる笑顔、すべてが失われてしまう人生を。その1杯の意味をもう一度考えられたなら飲酒運転は無くせる。

北海道警察本部長賞

北海道札幌北高等学校(定時制)
1年 野村 菜々美さん

いつも通りだった生活が誰かによって奪われた時、帰りを待っていた人の気持ち。忘れないで、誰にとっても奪うことも奪われることも辛いつてことを。だから絶対やめよう飲酒運転。

札幌市長賞

北海道札幌北高等学校(定時制)
1年 宮下 聖来さん

ちょっとまって。「少し運転するだけだから。」その「少し」で取り返しのつかない事になるかもしれない。誰かの笑顔を奪うかもしれない。絶対やめよう、飲酒運転。

北海道交通安全推進委員会会長賞

北海道小樽水産高等学校
1年 大西 凜さん

未来への明るい希望を築こう。飲酒運転は愛する人を奪い、家族を傷つける悲劇。一回の間違いが一生の後悔を生む。全てを失わないために、責任を持とう。そのために、飲酒運転は絶対にやめよう。

北海道交通安全協会会長賞

星槎国際高等学校帯広学習センター
1年 宮越 美来さん

その一杯が、その判断が、いつか大きな憎しみを生み出す。飲酒運転は、人が積み上げてきたものをいとも簡単に蹴散らしてしまう。どうか、思い出して。知らない人にもあなたにも「人生」があるということ。

北海道安全運転管理者協会会長賞

市立札幌開成中等教育学校
2年 青山 遥佳さん

この世に「絶対」はないことを教えてくれたのはあなたたち大人。でも、お酒は一杯で「絶対大丈夫」を生んでしまう。この世に「絶対」はないから、リスクを考えよう。たった一度の「絶対」が人生を変えないために。

飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」特別賞

北海道根室高等学校 1年 山野寺 煌さん

1杯飲むことによって判断は鈍る。
それほど酒は怖いもの。
だから運転しないで。
転んだ時にするけがと同じじゃない。
お互いいやな思い出としてしか刻まれないから。
めの前の自分と向き合おうと気づける。
だからやめて。



令和5年 飲酒運転根絶！
高校生メッセージコンクール

皆様からのご支援、ありがとうございました。



建設産業交通安全推進北海道本部



北海道商工会議所女性会連合会



北海道牛乳普及協会



ANAオープンゴルフトーナメント大会



北海道自家用自動車協会連合会



全国共済農業協同組合連合会北海道本部

(敬称略)

受領月	寄付者名	種類	区分	寄付金額(単位:円)
7月	株式会社アベックス	特定	寄付	11,117
8月	ライダーズミーティングin寿都実行委員会	特定	寄付	100,000
9月	植村 泰也	特定	寄付	2,000
	美幌交通安全母の会	特定	寄付	2,890
	当別町交通安全推進委員会	特定	募金(黄色い羽根)	11,572
	新得町交通安全推進協議会	特定	募金(黄色い羽根)	57,654
	建設産業交通安全推進北海道本部	特定	寄付	1,000,000
	一般社団法人札幌地区トラック協会南空知支部	特定	寄付	55,700
10月	美幌町交通安全推進委員会	特定	募金(黄色い羽根)	16,280
	石狩地区交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,833
	蘭越町交通安全運動推進委員会	特定	募金(黄色い羽根)	30,172
	札幌市交通安全協会	特定	募金(黄色い羽根)	10,863
	士別市交通安全運動推進委員会	特定	募金(黄色い羽根)	75,763
	紋別市交通安全運動推進協議会	特定	寄付	7,142
	木古内地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	3,626
	札幌西交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,850
	札幌手稲交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,598
	栗山地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,685
	伊達地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,300
	八雲地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,172
	札幌北交通安全協会	特定	募金(箱募金)	11,096
	砂川地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,000
	札幌南交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,000
	弟子居地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,464
	札幌中央信用組合西野支店	特定	募金(箱募金)	1,540
	北央信用組合手稲支店	特定	募金(箱募金)	1,208
	北央信用組合厚別支店	特定	募金(箱募金)	1,221
	留寿都村交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	2,094
	上川町交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,895
	北海道牛乳普及協会	特定	寄付	331,750
	二七町交通安全推進委員会	特定	募金(黄色い羽根)	108,280
	札幌中央信用組合美香保支店	特定	募金(箱募金)	1,279
	猿払村交通安全運動推進連絡協議会	特定	募金(箱募金)	3,982
	清水町生活安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	2,412
	稚内地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,685
	音威子府村役場	特定	募金(箱募金)	1,715
	芦別交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,650
	枝幸町歌登支所	特定	募金(箱募金)	5,521
	植村 泰也	特定	寄付	2,000
	浜中町交通安全運動推進協議会	特定	募金(箱募金)	2,617
	根室市交通安全推進協議会	特定	募金(黄色い羽根)	10,069
津別町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	1,746	
札幌手稲交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,378	
厚岸地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,849	
本別町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	2,260	
北海道信用金庫本店営業部	特定	募金(箱募金)	12,492	
小平町交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	15,772	
雨竜町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	1,340	
11月	七飯町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	5,441
	斜里町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	1,226
	広尾地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	6,018
	天塩町交通安全運動推進協議会	特定	募金(箱募金)	3,107

受領月	寄付者名	種類	区分	寄付金額(単位:円)
11月	江別市交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	9,769
	長沼町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	2,157
	寿都地区交通安全協会連合会	特定	募金(箱募金)	5,291
	砂川市役所	特定	募金(箱募金)	6,533
	北海道銀行室蘭支店	特定	募金(箱募金)	3,089
	札幌中央信用組合藤野支店	特定	募金(箱募金)	1,334
	北海道銀行麻生支店	特定	募金(箱募金)	833
	留萌地区交通安全協会連合会	特定	募金(箱募金)	1,393
	北海道商工会議所女性連合会	特定	寄付	300,000
	株式会社北海道銀行手稲支店	特定	募金(箱募金)	2,284
	株式会社北海道銀行新川支店	特定	募金(箱募金)	1,810
	室蘭交通安全協会	特定	募金(箱募金)	25,000
	中標津町交通安全協会	特定	募金(箱募金)	305
	中標津町交通安全協会	特定	募金(黄色い羽根)	8,759
	中標津町交通安全協会	特定	寄付	10,000
	共和町交通安全運動推進委員会	特定	募金(箱募金)	11,538
	函館方面交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,204
	利尻富士町交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	2,408
	三菱UFJ信託銀行株式会社札幌支店	特定	募金(箱募金)	6,186
	オホーツク地区交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,031
	美幌地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,130
	美幌地区交通安全協会	特定	寄付	10,000
	三笠市交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,023
	三笠交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,720
	八雲町交通安全運動推進委員会	特定	募金(箱募金)	11,974
	釧路方面交通安全協会	特定	募金(箱募金)	3,273
	後志地区交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,442
	函館西交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,140
	紋別地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	31,659
	株式会社北海道銀行本店営業部	特定	募金(箱募金)	1,245
	幌延町交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,045
	苫小牧地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,529
	富良野地方交通安全協会	特定	募金(箱募金)	7,000
	帯広地方交通安全協会	特定	募金(箱募金)	3,692
	奈井江町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	18,200
	新得地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,643
	小樽交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,486
旭川方面交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,552	
千歳地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	8,607	
当麻町交通安全推進協議会	特定	募金(黄色い羽根)	11,086	
静内地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,425	
遠軽地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,990	
根室交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,310	
稚内市交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	19,175	
羽幌地区交通安全協会連合会	特定	募金(箱募金)	1,000	
洞爺湖町交通安全町民運動推進委員会	特定	募金(箱募金)	4,697	
全国共済農業協同組合連合会北海道本部	特定	寄付	705,000	
植村 泰也	特定	寄付	2,000	
12月	平取町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	23,571

11月	北海道自家用自動車協会連合会	寄贈	啓発資材[即席ラーメン]1,400個
-----	----------------	----	--------------------

交通安全

探訪

えりも町

(日高振興局管内)

「交通安全は家庭から」 交通事故のない安心安全な町づくり

えりも町は北海道の東南端に位置し、豊かな水産資源と雄大な自然景観に恵まれた漁業と観光の町です。「風極の地」と呼ばれる日本屈指の強風地帯でもあります。

漁業では、コンブ、サケ、ウニなど豊富な魚介類の水揚げは、地域経済の主力を成しています。また、全国的に知られている「襟裳岬」や断崖絶壁の海岸が続く「黄金道路」など数多くの景勝地を有し、年間30万人以上の観光客が訪れており、2024年夏には、襟裳岬と日高山脈の1帯を中心とする約24万ヘクタールの陸域について、国内最大となる国立公園化が予定されています。

子供たちと一緒に行う 交通安全の取り組み

えりも町では、春、夏、秋、冬の4期にわたって交通安全運動を実施しており、春と秋には「旗の波啓発作戦」を、夏には「テント検問」などには「車両パレード」を行っています。

春と秋の「旗の波啓発作戦」では、交通安全関係機関が道路沿いで「飲

酒運転根絶」や「安全運転」と書かれたのぼり旗を掲げたり、「スピードダウン」や「シートベルト着用」と書かれた手持ち旗を振るなどして

通行する車に交通安全を呼びかけます。秋の「旗の波啓発作戦」では、幼稚園児も参加し手持ち旗を振り一緒に街頭啓発を行っています。夏の「テント検問」では、春や秋の「旗の波啓発作戦」とは別の場所で啓発を

行いますが、交通安全関係機関が集まり、春や秋の「旗の波啓発作戦」と同様に街頭啓発をする傍ら、保育所

児童が検問車両のドライバー一人一人に安全運転を呼びかけ啓発グッズを手渡し取り組みを行



っています。

また、毎年2月下旬から3月上旬に開催している「交通安全住民大会」では、小学生から高校生までを対象にした「交通安全作文コンクール」を実施することで、子どもたちがより身近に交通安全に携われるような取り組みを行っています。

地域及び町民の取り組み

交通安全運動期間中は、建設会社による「旗の波啓発作戦」や交通安全指導員による「パトライト作戦」、商店街や飲食店などに飲酒運転根絶や各季節の交通安全運動の「ポスター掲示」を行っており、日常生活の多くの場面で交通安全の啓発を訴える活動を行っています。

冒頭でも記載した通り、えりも町は漁業が盛んな町です。そこで夏は昆布採取のシーズンでは、令和4年度から国道沿いで昆布採取を行っている地区で「昆布漁船に交通安全旗を掲げての昆布採取」を行っています。

また、小学校の新入学生には、交通安全運動推進委員会が「交通安全に関係する文房具の寄贈」、商工会女性部が「交通安全の願いを込めた鈴」を入学式当日に「新入学児童に直接配付」するなど地域が主体となった活動も行っていきます。さらに、「交通安全住民大会」においては「地

区別無事故無違反実践大会」や「功労者、優良運転者表彰」を行うなど町民一人一人が交通安全を意識できるように取り組みも行っていきます。



最後に

残念ながら、えりも町では前々年に続き昨年7月に交通死亡事故が発生してしまいました。「交通安全は家庭から」を掲げたとおり、交通安全について家庭で考える時間のきっかけづくりを提供するため、今後、子どもから大人まで交通安全に携わる機会を多く展開し、交通事故のない町を実現できるように、町、交通安全指導員、交通安全協会をはじめとする関係機関と連携しながら町民一丸となって取り組んでいきます。



後志地区
交通安全推進員
佐藤 望

1年目を振り返って

四月より後志地区交通安全推進員として勤務しております佐藤と申します。皆様よろしくお願いたします。

私は推進員になるまで交通安全の推進活動に関わる機会が無く、今でも手探り状態ではありますが、後志総合振興局環境生活課の皆さんからアドバイスをいただきながら交通安全運動の推進に取り組んでおります。

推進員としての初めての大きな仕事は四月に行われた京極町交通事故死ゼロ7000日達成の表彰式でした。

京極町の皆さんと一緒に7000日達成のお祝いがあったことは、推進員になりました

での私にとって交通安全に対する意識を高める貴重な経験となりました。

その後、神恵内村5500日、島牧村7000日達成の表彰状伝達のため訪問させて頂きました。

訪問の際、美しい風景を目の当たりにし、改めて後志の魅力を感じることが出来、このような機会を与えてくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

後志には交通事故死ゼロ5000日以上を継続している町村が4町村ある一方で、8月には、3日間という短い期間で3人の尊い命が交通事故の犠牲になりました。

後志はとても広く、地域の特性も様々ではありますが、悲惨な交通事故が一つでも無くなるよう啓発活動に取り組んでいきたいと思えます。

交通安全推進員の声



上川地区
交通安全推進員
蝦名 一樹

五年目を迎えて

交通安全推進員として五年目を迎えました。この仕事を通じて自分自身の交通安全に対する意識が高くなったことに感謝申し上げます。

令和2年から猛威を振るっていた新型コロナウイルスの5類感染症への移行後、昨年6月に高齢者の交通安全講習が管内で再開され、旭川シニア大学で講演をさせていただきました。久しぶりの講演を終えて交通安全啓発活動に微力ながら役立つている充実感が湧きました。

最近、交通安全啓発をしている中で、気になることが二点あります。一点目はツーリングバイクやレンタカーに関わる事故です。北海道の広大な景色に誘発されて、オー

バススピードでカーブやT字路を曲がり切れず路外への逸脱や対向車との衝突、交差点の標識無視による衝突などの事故が多発しており、悲惨な死亡事故も起きています。そして、一点目は講話する機会の多い高齢者が関わる事故です。高齢ドライバーによる自損・物損や人身事故、さらには歩行中や自転車に乗っていて被害者となる事故で、過去11年間にわたり、全事故死者数の半数以上を高齢者が占めております。

どちらにも、更なる啓発活動を通じて注意喚起並びに交通安全への意識改革を図るとともに、一件でも痛ましい事故を減らしていきたいと思っております。



交通事故死ゼロ運動顕彰

8月	9月	10月	11月	12月	1月(予定)
3000日▶下川町	3000日▶月形町	10500日▶西興部村	5500日▶上ノ国町	5500日▶泊村	3500日▶小清水町
2000日▶厚真町	2500日▶むかわ町	7000日▶島牧村	4000日▶寿都町	4000日▶知内町	3000日▶二セコ町
比布町	2000日▶妹背牛町	5500日▶神恵内村	2000日▶福島町	3500日▶東川町	滝上町
1500日▶秩父別町	1000日▶根室市	5000日▶浦臼町	1500日▶中川町	2000日▶更別村	2500日▶利尻富士町
天塩町	700日▶乙部町	2500日▶清里町	1000日▶岩内町	1500日▶新ひだか町	釧路町
1000日▶森町	500日▶北竜町	2000日▶遠別町	新冠町	新得町	2000日▶剣淵町
700日▶幕別町	釧路町	1000日▶美唄市	700日▶深川市	1000日▶訓子府町	中頓別町
500日▶松前町	300日▶三笠市	当別町	南幌町	700日▶愛別町	1000日▶洞爺湖町
津別町		鹿部町	せたな町	500日▶由仁町	紋別市
		厚沢部町	500日▶共和町	音更町	700日▶夕張市
		700日▶砂川市	赤井川村	標津町	新十津川町
		倶知安町	長万部町		豊浦町
		白老町	土幌町		500日▶雨竜町
		浦河町	300日▶千歳市		新篠津村
		木古内町			壮瞥町
		江差町			南富良野町
		今金町			稚内市
		500日▶増毛町			本別町
		300日▶北広島市			白糠町

オホーツク地区 雄武町



雄武町交通安全推進委員会主催による町民交通安全集会在7月16日に開かれ、同月8日に統計上最長記録となる交通死亡事故ゼロ日数「2207日」の達成記念、新目標「3000日」の宣言と各世代から力強い決意表明がありました。終了後には北海道警察音楽隊、カラーガード隊による華麗で迫力のある演奏が披露されました。

釧路地区 厚岸町



厚岸町交通安全運動推進委員会では、秋の全国交通安全運動期間中、小中学校の登校時間帯に合わせ、街頭啓発を行いました。また、9月21日には「すしハウスかざぐるま」前の国道44号線交差点及びあつけし望洋台駐車場において、旗波活動や交通安全啓発資材の配布を行い、通過する車両に対し安全運転を呼びかけました。

檜山地区 檜山振興局



檜山地区交通安全推進協議会では9月26日、今金町内スーパー前にて、今金町役場とせたな警察署と合同で、秋の全国交通安全運動に係る街頭啓発を行いました。日没時間が早まる時期に交通安全の機運を高めるため、交通ルールの遵守や、思いやりのある交通マナーの実践を地域の方々へ呼びかけ、夜光反射材を配布し着用をお願いしました。

十勝地区 十勝総合振興局



十勝地区では毎年9月1日から11月30日までの3か月間「交通安全死ストップ十勝百日作戦」を実施しました。この時期は秋の行楽シーズンや農作物の輸送繁忙期などで交通量が増加するほか、日没が早まり、交通量の多い時間帯に夕暮れとなるため、重大事故が多発する傾向にあります。本年も、関係機関・団体と連携を図りながら、悲惨な交通事故抑止のための取組を行いました。

2024年 謹んで新春のお慶びを申し上げます

保険のことなら互助サービスへ！
 ●生命保険 ●医療保険 ●自動車保険
 ●ゴルフ保険 ●旅行保険

(株)北海道互助サービス

〒060-0812 札幌市中央区北三条西七丁目一緑苑ビル二階
 電話 (011) 271-1427
 FAX (011) 271-1473
 ホームページ <https://www.gofyo-s.co.jp>
 Eメール info@gofyo-s.co.jp

札幌駐車協会

会長 遠藤 隆三

札幌市中央区北一条西二丁目二
 北海道経済センタービル内
 電話 (011) 231-5554

社団法人 **北海道指定自動車教習所協会**

会長 相馬 純一

札幌市中央区北九条西十八丁目
 電話 (011) 633-7310

**北海道交通安全指導員
連絡協議会**

会長 塚田 茂男

札幌市中央区北五条西六丁目
 第二道通ビル六階
 電話 (011) 241-1122
 FAX (011) 241-1122

代表取締役社長

岩田地崎建設株式会社

岩田 圭剛

札幌市中央区北二条東十七丁目

「交通安全」と「食の安全」を目指す
うさぎ印パン粉

取締役名誉会長 **横山 末雄**

〒003-0029 札幌市白石区平和通14丁目北4番1号
 電話 (011) 864-7421
 FAX (011) 864-7110

表彰・記念品専門店

謹賀新年

株式会社 **オリジナルHOTTA**

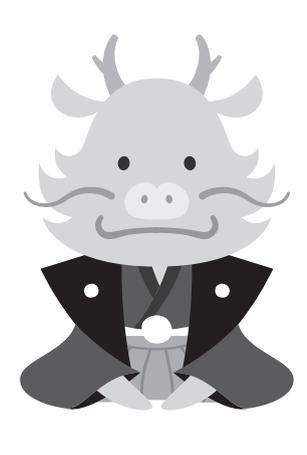
代表取締役社長 堀田 まり

〒060-0031 札幌市中央区北一条東9丁目11-46
 TEL (011) 211-4147 FAX (011) 211-4148
 E-mail: o-hotta@agate.plala.or.jp
<http://www.o-hotta.com>

社団法人 **日本自動車販売協会連合会
札幌支部**

支部長 沖田 俊弥

札幌市東区北二十八条東一丁目
 札幌自動車会館内
 電話 (011) 753-1516 (番代)



novello
TOTAL COMMUNICATION

代表取締役社長 齊藤 辰夫

株式会社ノヴェロ
 〒060-0052 札幌市中央区南2条東3丁目
 電話 011-281-6631
 FAX 011-221-2073
 ホームページ <http://www.novello.co.jp>

交通安全指導員制服製造
相合縫製株式会社

代表取締役 **笠原 祥史**

〒003-0026 札幌市白石区本通十丁目南七番九号
 電話 (011) 864-1953
 FAX (011) 864-1954
 ホームページ <http://www.step-u.com>
 Eメール info@step-u.com

交通安全、建設安全、防災、
防犯、福祉、人権、消費者、
環境の映像教材販売



<http://www.planproduce.co.jp>

有限会社 **プラン・プロデュース**

札幌市中央区大通東2丁目3番
 TEL 011-219-2311

地域の安全安心をプロデュース

株式会社サン高千穂

 SAN-TAKACHIHO CO.,LTD.

〒003-0027 札幌市白石区本通16丁目北1番20号
 TEL (011) 865-2344(代) FAX (011) 865-4450

<https://www.sun-takachiho.co.jp>

交通 防犯 防災 消防 暴追

オモシロイで未来を変える

Change The future with
"OMOSHIROI"!



1. 変わることチャレンジし、変わること応援します!
2. 一人ひとりの魅力で北海道をあったかい笑顔にします!
3. みんなの知恵と技術力で幸せな未来を切り拓きます!

先進のITでお客様の夢・希望の
実現をサポートします。

NTT Data

株式会社NTTデータ 北海道

代表取締役社長 梶 保夫

札幌市北区北10条西3丁目9-2
THE PLACE SAPPORO
TEL(011)281-7002 FAX(011)788-8802
URL <https://www.nttdata-hokkaido.co.jp>

みなさまのおかげで
創業70年を迎えました。



白馬堂印刷株式会社

代表取締役 花井 馨

取締役社長 後藤 孝俊

本 社
〒064-0823 札幌市中央区北3条西25丁目
TEL.011-621-1471 FAX.011-621-8551

発寒工場
〒063-0829 札幌市西区発寒9条14丁目516
TEL.011-665-8881 FAX.011-669-2656



「IT」で「幸せ」に挑む。



株式会社HBA

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地8
TEL:011-231-8301 FAX:011-281-0915
www.hba.co.jp

令和6年1月号

公益社団法人 北海道交通安全推進委員会

札幌市中央区北5条西6丁目1-23 第二道通ビル6階 電話(011)221-6666 FAX(011)221-7873

URL: <https://www.slowly.or.jp> e-mail: safety@slowly.or.jp

公式ホームページ / YouTubeチャンネル / X(旧Twitter) / Facebookページ [北海道交通安全推進委員会 検索](#)